

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)

【公表番号】特表 2002-502836 (P2002-502836A)

【公表日】平成 14 年 1 月 29 日 (2002.1.29)

【出願番号】特願 2000-530488 (P2000-530488)

【国際特許分類】

C 0 7 C 49/84 (2006.01)

A 6 1 K 31/085 (2006.01)

A 6 1 K 31/09 (2006.01)

A 6 1 K 31/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/145 (2006.01)

A 6 1 K 31/275 (2006.01)

A 6 1 K 31/4406 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 C 43/215 (2006.01)

C 0 7 C 205/35 (2006.01)

C 0 7 C 255/36 (2006.01)

C 0 7 C 327/44 (2006.01)

C 0 7 D 213/57 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 49/84 C

A 6 1 K 31/085

A 6 1 K 31/09

A 6 1 K 31/12

A 6 1 K 31/145

A 6 1 K 31/275

A 6 1 K 31/4406

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 2 3

C 0 7 C 43/215

C 0 7 C 205/35

C 0 7 C 255/36

C 0 7 C 327/44

C 0 7 D 213/57

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 27 日 (2006.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

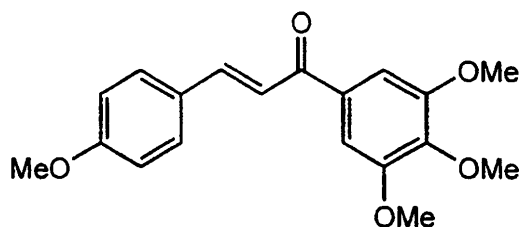
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 腫瘍の治療用の薬剤の製造における、一般式 V II 又は X II のいずれか一方を有する、酵素による芳香族ヒドロキシル化によって活性化されたプロドラッグの使用。

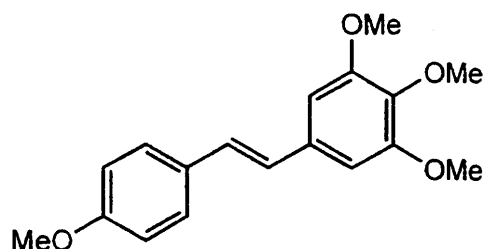
(V II) :

【化 1】



(XII) :

【化 2】



【請求項 2】 前記薬剤がさらに薬学的に許容しうるキャリア、希釈剤または賦形剤を含有する、請求項 1 に記載のプロドラッグの使用。

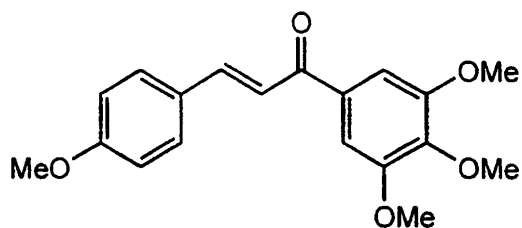
【請求項 3】 プロドラッグが CYP1B1 によってヒドロキシル化される請求項 1 または 2 に記載のプロドラッグの使用。

【請求項 4】 プロドラッグが、一般式 VII 及び XII からなる群のいずれか一方から選択され、かつ、ヒドロキシル化された状態の有糸分裂阻害剤である請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のプロドラッグの使用。

【請求項 5】 (i) 一般式 VII または XII のいずれか一方を有する化合物を細胞試料に投与する工程と、

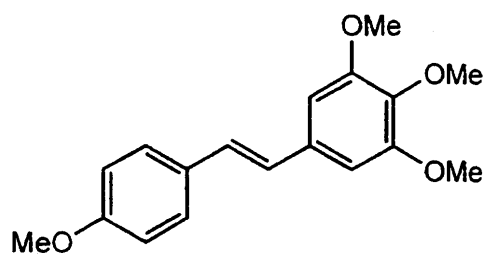
(VII) :

【化 3】



(XII) :

【化 4】



(i i) 前記細胞中に、前記化合物のヒドロキシル化された代謝物が存在するか、存在しないかを測定する工程と、

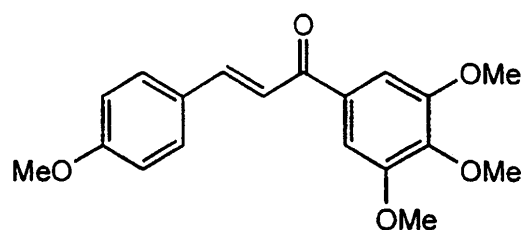
(i i i) 工程 (i i) の結果を腫瘍状の細胞試料の存在又は不在と相互に関連させる工程と、

からなる腫瘍の状態の細胞試料の診断方法。

【請求項 6】 腫瘍の治療用の薬剤の製造における、一般式 V II 又は X II のいずれか一方を有する、酵素による芳香族ヒドロキシル化によって活性化されたプロドラッグの使用による治療法。

(V II) :

【化 5】



(X II) :

【化 6】

